

2020年3月12日

別添3

## 指導部会中・長期計画

5年後の目標	<p>本部会は、剣道を正しく普及するための以下の活動方針に沿って指導実施上の問題点を明らかにし、共通理解を前提とした指導のあり方を研究する。(1)「剣道の理念」、「剣道修練の心構え」、「剣道指導の心構え」を基盤にして指導を推進する。(2)「日本剣道形」「木刀による剣道基本技稽古法」「竹刀稽古法」の位置づけとつながりを踏まえた各々の指導法の充実を図る。(3) 講師要員(指導法)の講習・研修を実施し、指導法講師の養成を図る。(4) 女子剣道指導法講習会を実施し、技能の向上ならびに指導力の向上を図る。(5) 本連盟刊行の『剣道指導要領』、『剣道講習会資料』、『日本剣道形解説書』、『木刀による剣道基本技稽古法』、『剣道社会体育教本』、『剣道授業の展開』の活用を図る。(6) 国内外の各層・各領域に剣道を正しく普及させるため、関連の専門委員会と連携しながらより適切な指導法のあり方を検討する。</p>
目標に関する現状	<p>上記目標のうち、(2)（「日本剣道形」「木刀による剣道基本技稽古法」「竹刀稽古法」の位置づけとつながりを踏まえた各々の指導法の充実を図る）では、「刀—木刀—竹刀のつながり（歴史的経緯、物理的特性）から導き出される有効打突」を明らかにすることが求められている。これは勝利偏重がもたらす様々な弊害（三所隠し・不当な鏝ぜり合いなど）を是正し、正しい剣道の普及・発展につながると期待されている。また(4)の中では、女性の身体的特徴を踏まえた剣道指導法の研究が求められている。</p>
目標達成のための課題	<p>『剣道講習会資料』（pp.10-11「剣道指導要綱」）には、技能区分別（初心者、初級者、中級者、上級者）に、「指導目標」と「指導事項」（「指導内容」・「指導上の留意点」）が示され、指導にあたっては「刃筋・手の内・冴え・鎧を意識した竹刀の操作について徹底指導する」ことを重点事項（同上 p9「指導法講習における[重点事項]の第3項」とすることが明記されている。目標達成のためには、指導の前提となる各用語の共通理解が課題である。また女性への剣道指導法については情報の収集と整理が課題である。</p>
課題解決のための戦略及び実行計画	<p>指導部会においてつぎの4点を計画する。</p> <p>(1) 共通理解をすすめるため剣道界の先達が調査・研究された資料を掘り起こし、竹刀の操作における「刃筋」「手の内」「冴え」「鎧」などの用語に関する資料を作成する。</p> <p>(2) (1) で作成した資料をもとに講習会や研修会を実施する。</p> <p>(3) 女子剣道指導法講習会を通じた情報収集、および女子委員会との連携において、女性への剣道指導法（女性の身体的特徴を踏まえた指導法を含む）作成のための課題を整理する。</p> <p>(4) より多くの指導者が講習会を受講する仕組みをさらに推進する。</p>